



Winning The Hearts

～マインド編～

第2話：女性理解

第2話のテーマは、
「女性**理解**」
ぜひ、最後までご視聴ください。

前回の復習

第1話での最重要点は、、、

→**魅力**をつけることを、何よりも優先すること

どんなテクニックを使う場合でも、
魅力が前提となって、発揮される。

故に、**魅力の獲得**は、**必須**。

前回の復習

魅力とは？

①マインド

②見た目

③対人コミュニケーション

これら3つによって、構成されるもの。

(※第1話、2話、3話を、マインド編として学びを深めていく。)

ということで、、、

今回、第2話でも、
引き続き、モテる男のマインドについて、学びを深めていきます。

...

なぜ、マインドから学ぶか？

→見た目の演出力、対人コミュニケーション能力も、
同時多発的に向上することが、見込めるから。

どういふことか？

僕たち【人間】は、

考え方が変わることによって、行動が変わる。

- ✓どんな服を選んで外出するか？
- ✓どんな相手をパートナーに選ぶか？
- ✓どんな言葉を使って発言するか？

そうしたことを、「選択する」ということ。
その基準は、全て「考え方」に起因する。

よって、

正しい考え方を身につけると、
正しい選択ができるようになる、と言える。

見た目演出編 → 第4話、5話

対人コミュニケーション編 → 第6話～12話

※ここでの話をしっかり理解するための、下準備でもある。

では、今週の内容に行きます。

今週のテーマは、

「女性を**理解**する」 です。

女性のことを知って、

理解するようになると、**女性側**の視点が手に入る。

すると、女性の立場に立った上での行動が取れるようになる。

こうなると、モテるのは当然だと言える。

前回、僕たち男は、

見た目のタイプの女性を見た瞬間、、、

一気に**沸点**まで上がる（＝惚れる）

まるで、瞬間湯沸かし器のように（笑）

しかし、女性は違う。

見た目がタイプだからと、一目惚れは基本しない。

なぜか？

...

今日は、女性が、
異性を好きになる時のメカニズムについて話します。

最初のセクション。

§ 異性を好きになるときの、男女の違い

まず、分かりやすい話から。

男は、本能的に、

→女性の**見た目**で好きになる。

(顔、胸、ウエスト、お尻、脚、、、)

だから、本当にやる、やらないは別として、街でタイプの女性を見かけたら、レイプしてでもその女性とセックスしたいと、思うもの。

これには、**生物学的**理由がある。

それは、「種の保存」という本能を、我々は持っているため。
つまり、自分の子孫を残して、命のバトンをパスをすることを、
本能的に望んでいる。

男性も女性も、これは共通。

(...それどころか、**全ての生物**に共通。)

ただし、そのための**戦略**が、男性と女性では、異なっている。

男はなぜ、**すぐにセックス**したがるのか？

→生物学的に、大勢の女性を妊娠させることが可能だから。

一度の射精に含まれる精子の数：**2~3億**個

若い男性であれば、日に一度は可能。（→月に**60~90億**個）

、、、に対して、**女性**の場合。

一度の排卵（月1回）に含まれる卵子の数：**1**個

男はなぜ、**すぐにセックス**したがるのか？

→生物的に、大勢の女性を妊娠させることが可能だから。

であり、さまざまなタイプの女性と自分の遺伝子を交配させることで、ある特定の環境下によって、全滅しないようにすることが狙えるため。

どういふことか？

男はなぜ、**すぐにセックス**したがるのか？

例) アメーバ

単細胞生物。オス、メスもない。自分一人で、子どもを作ることができる。
→子供の遺伝子は、**全く同じ**。

故に、一つ流行った疫病があると、一気に全滅する。

↑ この結果を、僕たち男は「**避けたい**」という本能を持っている。

男はなぜ、**すぐにセックス**したがるのか？

だから、いろんな女性とのセックスによって、
いろんな組み合わせの遺伝子を持った子供を残し、「種の保存」を図る。

では、女性は何？

月に1個の卵子なので、
男性のように、数で勝負、
というわけにはいかない。

故に、**戦略**が必要になる。

女性は、

見た目がタイプだからと、すぐにその男性とのセックスは望まない。

慎重に、その男性のことを、まずは知ろうとする。

その人と、自分との子供が、
さまざまな環境に適応できる、**優秀な遺伝子**を持っているかどうか。

安易にセックスしてしまえば、、、

妊娠のリスクがある。

もし、妊娠すれば、約10ヶ月間は、
他の男性の精子を受け入れることができなくなる。

出産を終えたら、次に待つのは、**子を持つ母親**としての人生。

さらに女性は、

妊娠して子供が産める年齢にも限りがある。

すなわち、

受け入れられる男性の精子の数に、**限りがある**、
ということ。

だから、慎重に相手を選ぶ。

つまり、、、

まとめると、

男性は、天文学的な精子を作ることができるのに対して、
女性は、月に1個の卵子、しかも限られた年齢の中でしか出産できない。



男性は、**量**で「種の保存」を図る。

女性は、**質**で「種の保存」を図る。

だから、

男性は、「**見た目**」という目に見える部分
だけで異性を判断するのに対し、

女性は、「**総合面**」で異性を判断する。

つまり女性は、
ちゃんと中身も見ってから、男性を好きになる。
故に、好きになるまでに、**時間がかかる**。

もし、あなたに今、
一目惚れした女性がいたら、、、

その女性を

振り向かせようと、努力するのではなく、

まずは、**お友達になること**を優先してください。

そして、あなたのことを知ってもらってください。

(※決して、焦ってはいけません)

男性と女性では、

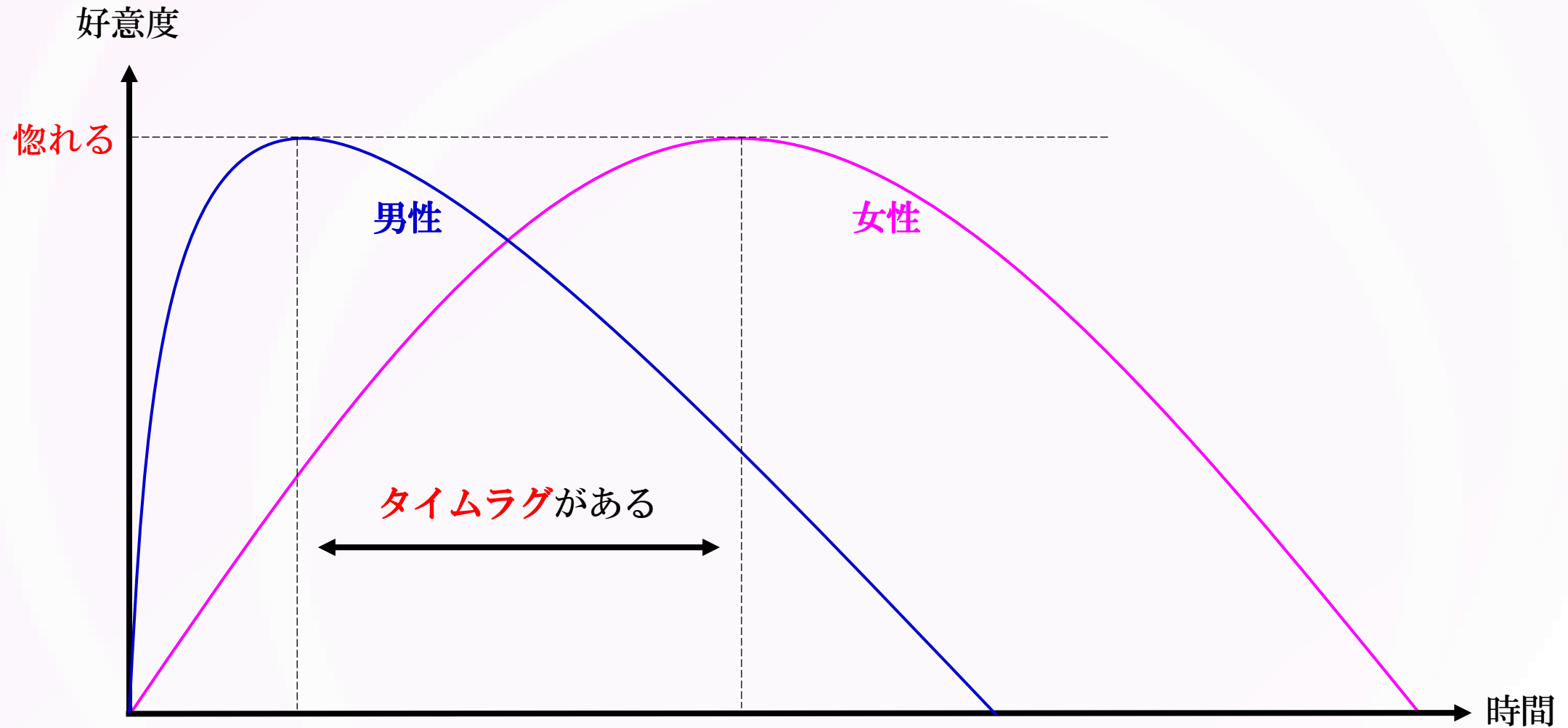
異性を好きになるタイミングに **【ズレ】** がある。

だから、どんなに魅力的なあなたになれたとしても、その女性は、

「**まだ**自分を好きになっていない」

と思っておくぐらいが、ちょうどよい。

男女の好意のタイムラグ



女性を惚れさせる、というのは

長期戦だという、前提認識をしっかり持つておく。

惚れていることを悟らせることなく、自然に接することが、理想。

この段階での好きバレは、NG。

なぜか？

→お互いの「**好意の温度差**」が生まれるため。

上手くいく関係構築は、

お互いの好意度が、釣り合っている状態が理想。

相手は、自分の見た目だけでは判断できないので、**中身の部分**も、よく知ってもらおう。

そうして、お互いの温度差を無くしていく。

決して、「性欲」の本能に流されない

→すぐに告白しない

→手紙で思いの丈を打ち明けたりしない

本能に流されない男が、1 %の魅力的な男。

もし、あなたに

好きになった女性を惚れさせるだけの魅力を持っていた場合、、、

「性の対象」ではなく、

冷静にその女性を見ることができるようになった頃が、
一番、その女性をあなたに惚れている可能性が高い。

だいたい、出会って3ヶ月後ぐらい。

そうやって、

異性を好きになる男女のタイミングの違いを理解した上での、
戦略的な行動が取れるようになると、

好きな女性を**引き寄せられる**ようになる。

次のセクション。

§ 美人女性

このセクションでは、、、

女性の中でも、

「美人」と呼ばれる綺麗な女性に限った話をします。

まず、前回（第1話）の復習から。

世の中には、

見た目がすごく可愛い子がいます。

- ✓肌は白くてキレイ
- ✓髪もツヤツヤでロング
- ✓歯並びもキレイで笑顔がかわいい
- ✓小顔
- ✓瞳が大きな二重瞼の目
- ✓スタイルもスラっとしている

持てない99%の男は、

そんな女性を目の前にした時、そのまま

「かわいいですね～」

「美人ですね～」

と言う。

これを言うと、、、？

女性を**興ざめ**させる

理由は、

出会う男性たちから、
さんざん同じ誉め言葉を言われ続けているから。

（これから、このセクションの本題に入ります。）

彼女たちは、

さんざん言われているから、このことを自覚しています。

「私は美人」

「私はかわいい」

その自分自身への認識があるが故に、
優しい笑顔で周りの人に振舞ったり、気の利いた言葉をかけたりする

「美人」である自分を、一貫させようとする。

これが、

男をトリコにする、“魅惑のオーラ”として表れる。

男は、女性の「見た目」で、好きになりやすい。
それはすなわち、、、

美人女性=弱点

と言える。

美人女性の見た目に

やられてしまい、自制心を失いそうになったときには、

「俺は、**見た目**に惚れている。」

と、心の中で呟くこと。

自分の心の状態を言語化し、ラベリングすることは、
自制心を保つための有効な方法。

人間にはもともと、

“自分で自分を見つめる”

という、**自分を客観視する機能**が、生まれつき脳に備わっている。

だから、「性欲」を刺激されても、
意識的に一時停止ボタンを押すことができる。

全ての動物の中で、これができるのは、唯一人間だけ。

これが、

人間が『万物の霊長』と言われる理由である。

しかし、99%のモテない男は、、、

自分を客観視する機能を使おうとしない。

すなわち、**思考が動物的**。

1%の魅力的な男は、思考が人間的。

1%に入るための方法は、

感情のラベリングをすること。

これで、性欲に流されない、強い男にリーチできる。

美女を惚れさせるためには、

彼女たちの頭の中にある、「男とは、こういう生き物。」
という、固定化されたモノの見方の枠を超えた存在になることが、大切。

これが達成されると、
すごく気になる存在として、カテゴライズされやすくなる。

次のセクション。

§ 女性は、こんな男が好き ～特徴 5 選～

本質的には、、、

女性は、

- ✓女心を、**理解**していて、
- ✓その上で**リード**してくれて、
- ✓**自信**が感じられる、、、

そんな男性が好き。

一言で、**「リーダーシップ」**のある男性を好きになる、ということ。

では、

具体的に、どんな男性が、それに当て嵌まる男性か？

5つの特徴をご紹介します。

特徴 1. 女性に気を使い過ぎず、
自分の信念に従って生きている

特徴1．女性に気を使い過ぎず、 自分の信念に従って生きている

「これが、人として正しい、そして美しい」

と考えている、行動理念に従って生きている。

彼らは勉強熱心。

→日頃から、読書家だったり、

→誰かの話を聴くことに真剣だったり、

→さらに、仕入れた知識を実践することも怠らない。

魅力的な男に、

ほぼ全員共通していることは、、、

→**強い学習意欲**を持っていること。

そうして、人としての魅力に磨きをかけている。

学習するとは、とどのつまり、、、

→**行動が変わる**こと。

人は誰だって、

完全な存在ではない。

故に、改善点が必ずあるもの。

「自分は、まだまだ**未熟者**」

この謙虚な態度で精進している姿が、
女性にとって魅力的に映る。

なぜか？

それは、

強いリーダーシップのある人間にしか、できないことだから。

“**自分を導く**リーダー”

としての在り方がある。

こうした自分に対する態度が、
回り回って、相手に対する態度として表れる。

例えば、

女性とのデート先を決める時、

「どこに行く？」

と、相手に決めさせるようなことはせずに、

「ここにしようか。」

という、相手にとっても**魅力的な案**を提案したり、

あるいは、

2～3択にして、相手に選びやすい選択肢を提示して、
最終的な選択権は、相手に譲るなどする。

これらができるのは、**決断力**があるから。

女性を惚れさせる男は、

決断力、そしてそれに伴う **リーダーシップ** がある。

次。

特徴 2. 何かの目標に向かって 努力している

特徴 2. 何かの目標に向かって 努力している

特徴 1 と、リンクした話。

これは、女性が「母性本能」を持っているため。

辞書で調べてみると、、、

母性とは、

女性のもつ母親として性質。

母親として、自分の子供を守り育てようとする

本能的特質のこと。=**母性本能**。（goo国語辞書より引用）

↑ これは、自分が産んだ子供だけに働くものではなく、

頑張っていると自分が思った誰かに対しても働くもの。

だから、モテる男は、

何かの努力を重ねていて、
未来に対して、ポジティブな期待を馳せている男性。

女性は、男性に「ときめきたい」と思っている。

「ときめき」とは何か？
→未来に期待を馳せた時に胸が高鳴る「高揚感」のこと。

それを感じさせてくれる男性を、

女性は本能的に求めている。

(※この話は、後の特徴にもつながっていきます。)

次。

特徴 3 . この社会を生きている力が 高そうな雰囲気がある

特徴 3 . この社会を生きている力が 高そうな雰囲気がある

女性は本能的に、

優秀な遺伝子を持った男性の精子を受け入れることで、
「種の保存」を図ると、前に話しました。

「優秀」とは？

→この社会を生き抜く能力の高さ

一例として、、、

→**お金**。

単純に、「いくら稼いでいるか？」ではなく、
「お金をちゃんと管理できているか？」という話。

年収1000万円の人がいたとして、この人は、世間一般的には、
おそらく、「稼いでいる」に分類される。

しかし、

年間で、1200万円のお金を使っていたとしたら、、、？

...

微妙、ですね。

要は、お金を管理する能力が**欠けている**、という話。

収入についても、全く同じ。

年間300万円が必要な生活をしているのに、
200万円の収入しかなければ、、、？

→ **もっと稼ぐ**必要がある。

今は、お金の話をしているが、

本質は、お金の話ではない。

自己管理能力の話。

この社会を生きていくには、

自分を管理する力は、不可欠。

- ✓決められた時間を守る
- ✓健康を損なわないために、食事管理をする
- ✓人と交わした約束は守る

そうやって、

自分を管理する力が付くと、他人から信用されるようになる。

この社会を生き抜く力がある人とは、

人から信頼される人のこと。

そんな人が女性にもモテる、というのは、当然の話。

次。

特徴4. どちらかと言うと、
普段はクールなイメージがある

特徴4. どちらかと言うと、 普段はクールなイメージがある

魅力的な男は、「辛い」とか、「苦しい」など、
基本的にネガティブワードを口にしない。

言ったとしても、ユーモアとして、口にするだけ。

なすべきことを淡々とこなしている、クールな人。

だから、

「少し怖い人」と誤解されることも、少なくない。

しかし、誰か困っている人がいたら、

- ✓助けてあげるし
- ✓親身になってあげるし
- ✓強力してあげる

だから、女性にとっても、**頼りになる**存在。

普段は、クール

でも、いざとなったら、助けてくれる。

そんな**ギャップ**に、女性は弱い。

ちょっと冷たいイメージのある男が、
たまに優しくしてあげることで、女性は、何十倍も喜びを感じる。
(※重要なポイントです。)

次。

特徴 5. ちゃんと、 「ごめんなさい」が言える

特徴 5. ちゃんと、 「ごめんなさい」が言える

誰だって、失敗やミスはするもの。そんな時に、

「ごめんなさい」

と素直に謝れる人は、結果的に人に好かれる。

「男らしさ」という点からは

反れるが、人として当たり前のことが、しっかりできる男性は、
硬派な女性や、しっかりとした考えを持った女性からは、好かれる。

自分の非を認められる人は、**強い人**であり、**魅力的**。

カッコつけることだけを考えるのではなく、
こうした基本も疎かにしないように気を付けましょう。

§ 学生時代、 不良がモテた理由を考察

彼らには、

- ✓強そう
- ✓怖そう
- ✓近寄りがたい

というイメージがあった。

彼らが付き合っている彼女を見ると、
男からモテる風の美女だったりすることが多い。

なぜ、不良はモテるのか？

彼らは、

「怖そう」という部分だけでなく、**優しい部分**も持っている。

それが**ギャップ**になり、女性を惹きつける**魅力**に変わっている。

例えば、

怖そうな不良男が、小さな子ネコを抱っこしていたら？

...

何か、惹きつけられませんか？

これは、女性にとっても全く同じこと。

優しい男がモテる

という単純な話ではなく、それ以前の印象として

- ✓強そう
- ✓怖そう
- ✓近寄りがたい

そんなイメージが先行していて、それが良い意味で裏切られるから、**魅力を感じる**、ということ。

つまり、人は、
自分の予想を、
ポジティブな意味で超えたものに、
魅力を感じる

ということが言える。

この原理を、僕たちにも応用しようと考えた場合、、、

優しい

とは、**反対の何か**を、自分の武器として持つこと。

コツは、自分に対して「厳しい」何かを持つこと。

自分に対する態度は、回り回って、相手に対する態度に変わります。
その結果、不良が出していたオーラに近いものが、
身に付くようになります。

次のセクション。

§ 逆に、こんな男は無理！ ～特徴 5 選～

特徴 1. 自慢話や、 武勇伝を語りたがる男

特徴 1. 自慢話や、 武勇伝を語りたがる男

特に、お酒が入った席に行くと、こうした男性は多いもの。

近くに好きな女性がいれば、
自分の凄さをアピールするため、そうした行動に出る。

しかし、、、

女性は、それを

何の魅力とも取らない。むしろ、逆効果。

「口で言うより、行動で示してほしい」と考えるから。

言葉とは便利なもので、
自分の過去の功績を、インスタントに伝えることができる。

だから、多くの男性は、こうした行動に走る。
しかし、それでは求める結果が得られない。

女性の人を見抜く力は、**確か**

「自分の凄さを分からせたいんだな。」

と、その男性の浅はかな心理を見抜く。

好きな女性にアピールしたいと思っても、
自慢話や、**武勇伝**を語るようなことはしないこと。

次。

特徴 2. 現実に対して、 ネガティブな男

特徴 2. 現実に対して、 ネガティブな男

= 怠惰な男

彼らの口癖は、

✓だりー

✓めんどくせー

...これでは、好きな女性を惚れさせることはできない。

女性の本能は、

より優秀な遺伝子を求めることにあるため、
こうしたネガティブワードは言わないよう努めるべき。

人の**脳**の本能は、

✓楽しい

✓サボりたい

だから、こうならないようにする意識することが大切。

ただ、全てに対してポジティブであろうとする完璧主義は、
ほぼ100%挫折するので、自分が拘っている部分（夢や目標）に対しては、
必ずポジティブな姿勢を貫くこと。

例えば、

売れないバンドマンでも女性にモテる人がいるのは、

「将来、必ず売れてやる！」

という、自分の夢に対する態度が、**真剣そのもの**だから。
その姿を見て、「応援したい！」と、女性の胸は打たれる。

しかしこれが、

「売れてやる！」

と言っているのに、
毎日、酒や麻雀にどっぷり浸かっているのだとしたら、、、？

白い目でその人をことを見ますよね。

前回、第一話の最後に

“人は、**生存確率が上がる人**と付き合いたい”

と話しました。それは、生存本能から来るもの。

「だりー」とか「めんどくせー」と口に出す人は、

- ✓未来に対して、**期待を馳せられていない**
- ✓現実**に負けている**

と言える。

つまり、

サバイバル能力が低い状態なので、
付き合う相手として、魅力的に映らないと言える。

次。

特徴3. ナヨナヨしている

特徴3. ナヨナヨしている

辞書で開くと、

“力がなくて弱々しいさま”

とある。

肉体面で言えば、

- ✓ やせ細っている
- ✓ 体力がなさそう
- ✓ 重たいものが持てなさそう

精神面で言えば、

- ✓ 打たれ弱い
- ✓ 決断力がない
- ✓ 自分軸がない

女性は、こうした男性に
魅力を感じない。

女性は、**力強い男性**が好き。

肉体面で自信がないのなら、
筋トレやランニングなど、身体を鍛える努力が必要。

精神面で自信がないのなら、
自分の信念や、哲学を持った生き方をすると、まず心に決めること。

例えば、Amazonなどで参考書籍を検索し、評価の高いものから
順番に読んで勉強する。自分の考え方に磨きをかけること。

次。

特徴4. ケチケチしている

特徴4. ケチケチしている

例えば、初デートの食事代を割り勘にすること。お金を出すことを渋る男性は、女性から嫌われる。女性は、少ない給料から、

- ✓エステ
- ✓メイク
- ✓スキンケア用品
- ✓ネイル など...

男には、お金のかからないところにかかっていたりして、金銭的にあまり余裕はない。急な数千円の出費も、痛いもの。

だから、気前よく、

「今日は、俺が持つよ。」

と言って、食事代を出してあげるぐらいになると、
男らしさが出て、女性にモテる。

次。

特徴 5. ただ、優しいだけ

特徴5. ただ、優しいだけ

嫌われる、というより、
恋愛対象の男性としては、魅力を感じない男の特徴。

特に、美人女性には、

“ただ、優しいだけ”

というのが、通用しない。

彼女たちは、

男から、褒められて、優しくされるのが
当たり前の世界の中で生きている。

そんな女性に、

「この人、他の人と違う...」

と興味を持たせるためには、
ちょっと冷たい態度や、そっけない態度も、大切になる。

怖そうなんだけど、

でも、実は優しい。

このギャップが、**美女のハート**を掴みます。

次のセクション。

§ 女性を惚れさせる、**ポジション**の話

本質の話を、、、

人は、

“頼りになる**誰か**を頼りたい”

という根源的な欲求を持っている。それはつまり、

“**リーダー**を求めている”

ということ。

これは、

「生存欲求」から来るもので、特に女性の場合、

“頼れる男”

を、理想のパートナーとして選ぶ傾向がある。

相手が美人女性だった場合、

その**見た目の良さ**に、惚れてしまいそうになると思いますが、、

ここに流されると、

“リーダーとしてのレベルも下がる”

ということを覚えてください。

※好きになった女性ほど、見た目に惚れている場合が多いですから、
落とすことが難しくなります。

だから、

“美女の前でも、

胸を張って堂々とする”

と、心に決めること。

ここから、「頼りになる男」へのリーチが始まる。

「性欲」優位である男性は、

女性の見た目の良さに、すぐ惚れそうになる。つまり、

美人女性＝弱点

しかし、予め自分の弱点を認識していれば、対策は打てるもの。

仮に、

あなたが好きになった女性が、あなたよりも5歳も10歳も若いのであれば、何か、その女性よりも長けている分野があるはず。

- ✓精神面のタフさ
- ✓「人」という存在の理解度
- ✓これまで生きてきた自分自身への信

それらを意識し、自分のことを誇りに思えば、、、、

見た目が美人だからと、

自分を献上したり、褒め称えるような態度には、ならない。

“俺は、この女性よりも **レベルが上**”

このセルフイメージによって、「堂々としている」とか、
「自信を感じる」と、女性に思わせることができる。

そして、

「この人は、しっかりした人だ。」

「この人は、頼りになる人だ。」

という、堅実なイメージを狙った女性に埋め込み、
美人である彼女にとって、尊敬の対象としてのポジションを獲得する。

これが、女性にとっての、異性としての魅力。

では、魅力的な男になるには、

どうすれば良いのか...？

その方法論については、次回に譲ろうと思います。

今回は、**女性心理**について詳しい話と、
どんな男性を求めているか？という話をしました。

第3話は、「**魅力的**な男のマインド」です。

次回も、どうぞお楽しみに。

最後までご視聴くださいますと、ありがとうございます。

高橋りょう